



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(15)



活動日時 2019年2月11日(月) – 2月23日(土)

活動従事者 桑山尚司, 迫有香 (広島県立教育センター・指導主事), 佐々木孝 (広島県北部教育事務所・指導主事), 大坂遊 (教育研究推進員), 守谷富士彦 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会 (提案自治体: 広島県) が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」に専門家の派遣で協力しています。2月11-23日に、EVRIメンバーの桑山・大坂・守谷と、広島県北部教育事務所の佐々木孝指導主事、広島県立教育センターの迫有香指導主事がカンボジアへ渡航しました。

今回の目的は、昨年12月の渡航に引き続き「新シラバスの理念を実現するにはどのような教科書が望ましいか」を、授業研究を通して検討することです。あわせて今年度の取りまとめ会合に出席して、広島側から見た成果と課題を報告することにしました。

11日から20日にかけて、指導主事の2名が

中心となり、現地の教科書開発者や学校教員とともに、中学校3年生の歴史「民主カンブチャ時代」と小学校6年生の地理「位置と座標」の授業開発に取り組みました。それぞれの単元について、現行教科書と新モデル教科書を使った授業プランを現地教員が提案し、指導主事がコンサルティングを行う形で開発・改善が行われました。21日から始まるパイロット授業に向けて、別のクラスを使った試行授業も繰り返し行われました。

中学校2年生の家庭・経済「就業と失業」では、迫指導主事自らが授業開発・実践しました。試行授業は好評で、当初1時間の予定でしたが、単元2時間分全て実施してほしいとリクエストが出たほどでした。パイロット授業も教育省副大臣から大変好評でした。

EVRIは引き続き広島県・広島県教育委員会と連携しながら、支援して参ります。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

